

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：日本学術会議主催学術フォーラム  
新たな地球観への挑戦—地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献—
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
  - ・共催：地球惑星科学委員会 I G U分科会、I U G G分科会、I U G S分科会、S C O R分科会、国際連携分科会、日本地球惑星科学連合
- 3 開催日時：令和3年2月15日(月) 13時—17時30分
- 4 開催場所：オンライン（WebExによる講演発表+YouTubeによる一般放映）
- 5 開催趣旨：

日本学術会議は、国際学術会議（ISC）に加盟する学術連合や科学委員会を通して国際的な学術活動を行っています。なかでも、地球惑星科学には数多くの国際的学術連合や国際科学委員会があり、それぞれの分野で新たな地球観、生命観を創造し、持続可能な社会への挑戦に向けて学術的な発展にむけて活動を行うと同時に、その研究成果を社会に向けて発信し、若手研究者の育成に大きく貢献してきました。

この学術フォーラムを通して国際的な学術組織への日本の地球惑星科学者が果たしてきた役割を可視化し、将来への展望をしたいと考えています。
- 6 参加人数：

講演者等：20名

その他の参加者：視聴者数（平均）210名
- 7 特記事項：

本学術フォーラムの関連記事を「学術の動向」に掲載を企画している。2021年日本地球惑星科学連合大会で本フォーラムに関係したセッション U-06「1時間でわかる学術会議：地球惑星科学分野の国際団体への支援」を予定している。